



国見っ子

令和3年度 第9号
国見町立国見小学校だより
令和3年 9月30日
発行者 校長 本多 康弘

家庭教育講演会

『スマートフォンの使用が学力に及ぼす影響』

9月3日(金)、本校において、6年生児童と保護者の方などを対象にした、東北大学加齢医学研究所助教授榊浩平氏による講演会を行いました。リモートによる講演となりましたが、講演は以下のような内容でした。

「考える・覚える・思いやる・我慢する」など、人間を人間らしくする力を司っているのが、脳の前頭前野部分である。特に中学生や高校生の時期は、脳を鍛えたり、脳を育てる大切な時期である。

「どのような行動が脳の活性化に結び付くのか」については、テレビゲームをしている時は、脳全体が活動しているように見えるが、肝心な前頭前野は全く活動せず、むしろ活動が抑制されている。反対に、脳全体が活性化するのは「音読」である。触覚、視覚、聴覚など、さまざまな刺激が複合的に連携し、脳に良い刺激を与える。

「スマートフォンと集中力の相関性」について、LINEの通知音を使った実験結果では、明らかに集中力が下がっており、身近な情報機器をどのように使うかが問われている。また、用語を調べる時にスマートフォンや電子辞書ではなく、紙の辞書を使うと脳が活性化する。

「スマートフォンの使用は1日1時間まで」「LINEはなるべく使わない」「勉強中は電源オフ」「調べものには紙の辞書を使う」というポイントが重要である。

「自分たちでルールを決めて、それを守れるようになることが最もよい」

なお、過日福島県小学校長会『子どものSNS・ネット利用の実態』に関する調査結果を配付しました。本校でも、情報端末を所持する子どもたちが増えています。同時に、トラブルや使用に関する心配や不安も大きくなっています。今後も、情報端末を活用した学習、家庭へ持ち帰った場合の使用について、学校でも指導をしていきますが、ご家庭でも端末使用についてのご指導をよろしくお願いいたします。



校内陸上記録会

15日(水)、校内陸上記録会が開催されました。本年度も、感染症拡大防止のため、6年生のみの参加となりました。この記録会のために、6年生は毎朝、練習に取り組みました。また、1年生から5年生が、手作りの壮行会を行い6年生へ声援を送りました。

校内記録会ではありますが、自分の目標(記録)を設定し、その達成に向けて取り組んだ成果や一人一人の自己表現の場としての記録会としました。「自己記録への挑戦」としながら、目標達成に計画的に取り組んでいくこと、成果に結びつけるために具体的な取り組みを実践できる貴重な経験をすることができました。今後の学校生活に生かして行ってほしいと思います。



くじけず、虹のように、みんな輝け!

10月16日(土)、運動会を開催いたします。文書にてお知らせしたとおり、感染症対策の観点のもとで、時間を縮小し、ソーシャルディスタンスを保持できるよう内容を工夫して実施します。

保護者の皆様の参観を制限させていただきますが、子どもたちが希望の星として輝く姿をぜひご覧いただきたいと思ひます。

